

日々想ふ

表通りから小路を少し入ったところに住まいがある。

合が悪く、新築住宅の間取りには書斎を入れる設計が増えてい

壁一面の本棚が欲しい、当時オーダーメイド家具を扱っていた義父に設置してもらった。その本棚には専門書や趣味の本がたくさん並んでいるが、もう30年も経つと古書になってしまったものも多い。

少し整理を始めたとき、本棚の隅に「ストックブック」を見つけた。小学生から中学生の頃の切手の図柄になっていた建物や仏像、浮世絵、

「ストックブック」と「スクラップブック」

鈴木 茂基



記念切手の発売日には、朝早くから郵便局に並んで買いためた記憶がある。表紙を開くと当時の懐かしいコレクションが、きれいに整理されていた。古い切手のため額面が安く、ほとんど

美術工芸品を覚えた。万博やオリンピック、沖縄返還などの大きな出来事は、記念切手が発売されることで知った。国立公園や国定公園の名前も覚えた。どうやら、私が文化財や歴史、

切り抜いて貼っていた。平成2年から始まっているのを見ると、この頃には今の仕事にもやりがいをもっていたのかもしれない。

ちなみに平成2年の県内経済10大ニュースの「好況で人手不足深刻化」で4位には「地価の上昇止まらず」となっていた。昨今の不安定な雇用形態や継続的な地価下落とは真逆の記事に、時代の流れと将来何が起るかわからないことを実感した。

そして時は令和4年、最近見た新聞にこんな記事があった。新型コロナによる倒産や失業を抑えるための無利子融資の返済が始まれば、倒産が増え、不動産の差し押えや競売が急増するという。職を失い、住まいを追われる人が増えるかも知れない。また、心配な相談が増えそうな気がする。

住宅は、人が暮らし、生活を営むための基盤だ。衣食足りて礼節を知る、というが、先ずは「住」足りて、不動産を活用することである。

最期まで自分の人生を生きるために

第76回Shipサロン



津市広明町の健康で生き生きする環境を整えるサロンの仲介、斡旋する(株)Ship(井ノ口輔代表取締役社長)は4月13日(水)、津市広明町のホテルグリーンパーク津6階橋藤の間で第76回Shipサロンを開いた。講演会があり、志摩市民病院の江角悠太院長が「終わりよければ」画「パッチアタムス」で、

僻地医療最前線からのお便り」と題して話した。代々医師の家系で、両親や祖父から「自分の力は、自分勝手をするためではなく、世の中のために使いたい」と言われて育った。高校時代はやんちゃばかりして退学寸前だった。たまたま見た映画「パッチアタムス」で、自分の人生を他人のために使っている人が描かれていた。そのなかで、うか、こういうことなのか、とわかったんです。その人が

江角院長は「担当した患者さんの平均年齢は85歳。そのほとんどの方が長生きしたいという思いは無く、お迎えを待つ人が多い。地方で求められているのは、患者一人ひとりに最期まで寄り添ってくれる医師」とし、医学を志す学生を声を出すこともできない末期がん患者に寄り添わせ、患者の心の声を聞きださせ、その想いに答えていく、志摩病院が取り組んでいる患者への寄り添い方を紹介した。

真の健康な暮らしについて、「病気でないということだけでなく、肉体的、精神的、社会的にも満たされた状態にあること。日本の医療は高度化しましたが、それで幸せになったかといえば、そうではありません。専門分化が進み過ぎて自分の専門分野しか見られない医師が増え過ぎた」と現状を指摘し、「最後まで自分のことを思って、寄り添ってくれる人が医療現場や社会に不足している。目の前の人を健康にしたい、幸せにしたいと思つたら、患者が「助けてください」と求めてきた時に、専門外だといって断らないことです」と力を込めた。

家族で最期をどう迎えるかについて、「人生会議」をして主治医にも伝えておくこと必要。自分が意識がなくなった時にどうしたいか、生命の終わりを家族に判断させることは難しい。「1年も2年もかけて大切に考え、伝えてください。最期の10年、これは全ての人に訪れます。幸せに過ごせる地域づくりが必要ですよ」と語った。

今回は5月11日(水)午前11時から、(株)レグリスの伊藤良代表取締役会長が「ダイバーシティに取り組み」と題して講演する。

同サロンは毎月1回開催。参加には会員への入会が必要。年会費は4万8千円(昼食代込)。入会は随時受付中。問い合わせは同社☎電話059(274)6438。

高齡化・長期化する「ひきこもり」三重県議会「有志の会」支援を考える初フォーラム

県は「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現に向けて、ひきこもり支援に特化した「三重県ひきこもり支援推進計画」を今年3月、全国ではじめて策定。4月16日(土)、津市身田上津部田の県総合文化センターで「ひきこもり支援フォーラム」誰一人取り残さない」が開かれた。関係諸団体と一般から計約350人が聴講した。

フォーラムは、これからのひきこもり支援について、ともに考え、ともに取り組んでいく礎となるようにと県とひきこもり支援を考える三重県議会議員有志の会(中村進代表、会員7人)が主催した。

講演会では大阪府豊中市社会福祉協議会の勝部麗子福祉推進室長が、「8050問題」(80代の親と50代のひきこもり)における現場の様子を紹介した。これを受けて開かれたシンポジウムで、「有志の会」の杉本野議員が司会進行役を務め、ひきこもり親の会世話人の橋本里美さんが、今後「計

健康への旅 vol.27

高木 久代



自律神経が乱れると、イライラして周りに当たると、怒りが強くなると感じるようになります。外出自粛や、仕事や生活の中で思い通りにならないうつ状態となり、イライラや怒りっぽくなる人が増加しています。

イライラに対する漢方薬

イライラや便秘がある方、特に女性のホルモンの変動に伴って現れるイライラや不安感には、「加味逍遙散(かみしょうようさん)」がおすすです。

漢方薬は、体質や症状に合わせたものを使用することによって効果が発揮されます。よくならない時は他の漢方薬もあります。是非、漢方専門医に相談してみてください。

イライラに対する漢方薬

イライラや便秘がある方、特に女性のホルモンの変動に伴って現れるイライラや不安感には、「加味逍遙散(かみしょうようさん)」がおすすです。

6月5日に口腔がん検診

早期発見で治療を!

津南科医師会「歯の健康展」

津南科医師会(萬好哲会長)は、6月5日(日)に津市西丸之内、津市役所隣「口腔がん検診」の受診者を募っている。対象は18歳以上の1.8%~2%。発生は2万人に1人。罹患数と死亡者数は増加傾向にある。口腔がんは専門家の視診で比較的容易に見出せるが、発見したときは進行状態にあることが多い。日本では死亡率が35%にも上る。舌がん、口腔底がん、歯肉がんなど口腔がんは、喫煙や飲酒の習慣のある40歳代以降の男性に多く発生すると言われ、進行すると命が助かっても顔付きの变形をもたらせる。口は「食べる、話す、呼吸する」と生命の基本機能があるので、損なわれると深刻な後遺症を残す。発見が早いほど、見た目・機能の障害を軽くでき、生存率も高まる。

早期発見が第一。視診で発見できるので、異常を感じたら早く受診することが大切。口腔検診実行委員会の担当者は「歯科医はがん治療はしませんが、口腔がんはレントゲンなどを必要とせず問診、視診、触診で発見が可能。検診で早期発見して治療に貢献したい」と話している。

申し込みは、ファクス059(225)1304、はがきに住所・名前・電話番号、健診希望時間帯を明記の上、〒514-0004津市栄町2丁目365(公社)津南科医師会へ。津南科医師会ホームページからメールで応募できる。折り返しメールまたは郵送で受付票、問診票を送付。問い合わせは津南科医師会☎電話059(225)1304【午前10時~正午】。

津南科医師会(萬好哲会長)は、6月5日(日)に津市西丸之内、津市役所隣「口腔がん検診」の受診者を募っている。対象は18歳以上の1.8%~2%。発生は2万人に1人。罹患数と死亡者数は増加傾向にある。口腔がんは専門家の視診で比較的容易に見出せるが、発見したときは進行状態にあることが多い。日本では死亡率が35%にも上る。舌がん、口腔底がん、歯肉がんなど口腔がんは、喫煙や飲酒の習慣のある40歳代以降の男性に多く発生すると言われ、進行すると命が助かっても顔付きの变形をもたらせる。口は「食べる、話す、呼吸する」と生命の基本機能があるので、損なわれると深刻な後遺症を残す。発見が早いほど、見た目・機能の障害を軽くでき、生存率も高まる。

早期発見が第一。視診で発見できるので、異常を感じたら早く受診することが大切。口腔検診実行委員会の担当者は「歯科医はがん治療はしませんが、口腔がんはレントゲンなどを必要とせず問診、視診、触診で発見が可能。検診で早期発見して治療に貢献したい」と話している。

申し込みは、ファクス059(225)1304、はがきに住所・名前・電話番号、健診希望時間帯を明記の上、〒514-0004津市栄町2丁目365(公社)津南科医師会へ。津南科医師会ホームページからメールで応募できる。折り返しメールまたは郵送で受付票、問診票を送付。問い合わせは津南科医師会☎電話059(225)1304【午前10時~正午】。

イライラやストレスなどで不調を感じた時は、十分に休息を取り、気分転換をするほか、漢方薬のケアもおすすです。

今回は、イライラに悩まされている人に処方される漢方薬を解説します。



イライラや便秘がある方、特に女性のホルモンの変動に伴って現れるイライラや不安感には、「加味逍遙散(かみしょうようさん)」がおすすです。

漢方薬は、体質や症状に合わせたものを使用することによって効果が発揮されます。よくならない時は他の漢方薬もあります。是非、漢方専門医に相談してみてください。